

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2115

太田 とおる
高柳2丁目49-2
TEL 826-1864

田中 ひさ子
国松町10-36
TEL 823-1714

寺本 とも子
豊里町88-1-105
TEL 825-9424

中林 かずえ
宝町4-33
TEL 838-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
TEL 823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
TEL 821-7427

中谷光夫議員が 代表質問で追及

九日、初めての休日

議会が開催され、傍聴席が満席になる中、日本共産党を代表して、中谷光夫議員が市政全般について質問を行いました。

中谷議員は、冒頭で「力の弱い困難を多くかかえている人のためにがんばってほしい」という難病の若者の言葉を紹介し、市長市政運営方針では、市民のくらしの現状が全く語られていないと質しました。

続いて、国民健康保険については、高い保険料の引き下げ、資格書の発行の中止、四月からの六五歳以上の天引きの中止などをもとめました。

幼児虐待死問題では、二度とこのような事件を繰り返さないために、①十分な検証と再発防止策を明らかにすること、②四〇〇件以上の相談に見合う専門的な経験や知識を持った職員の増員をもとめました。

また、まちづくりについては、①新たな大型開発ではなく、自然の回復、再生を基本にすえ、修復型にする。②高層化の規制、過密住宅の解消、公園、防災対策の整備などを行うこと。③クルマ社からの脱却、タウンぐるのさらなる拡充などを求めました。

操業停止も含め 対応すべき

中谷議員は、廃プラ問題で、「自分たちはモルモットじゃない。死者が出なければ行政は何もしないのか」という住民の声を紹介し、早期の健康調査の実施をもとめました。

また、二月から稼働している四市リサイクルプラザの排出ガスの、TVOC（総揮発性有機化合物）測定値が参考値を上回る高い濃度を示していることについて、「住民の不安が広がっている。施設の安全性について、住民が納得する検証を

については、①新たな大型開発ではなく、自然の回復、再生を基本にすえ、修復型にする。②高層化の規制、過密住宅の解消、公園、防災対策の整備などを行うこと。③クルマ社からの脱却、タウンぐるのさらなる拡充などを求めました。

行うとともに、操業停止を含めて対応するべき」と質しました。

傍聴した市民から「市長は市民のくらしの実態がわかっていない」などの声がよせられました。

視界

橋下知事が就任して一ヶ月余りが経ちました。「財政「聖域なき見直し」、を言いながら、府の財政危機をもたらした三つの問題(①大型開発の無駄使い②不公正な同和予算、③国の地方財源の削減)に一切触れていません▼二月九日から開かれている府議会で審議されている暫定予算(七月までの四ヶ月の予算)は市町村が行う住民サービスにかかわる一二五事業などを盛り込んでいないため、府下の自治体からの反発も強まっています▼寝屋川市で見込んでいた府の補助金の影響額は、府単独事業だけでも八億円にのびます。橋下知事は「ゼロベースで見直す」「府民にも覚悟を持ってもらいたい」と述べています。しかし、歴代の「オール与党」府政が進めてきた大型開発路線には手をつけようとしていません▼府下の自治体が協力して、府民の暮らし守れる声を橋下知事に届けることが急務となっています。

4市リサイクルプラザ 「安全」という行政の言い分くずれる



代表質問中の中谷光夫議員

法律相談

とき:3月18日(火)夜6時半~

ところ:市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議団まで